

組織の目標設定シート(行政経営Aシート)

組織	男女共同参画課
職	課長
氏名	加美 弘行

組織の使命・役割	何のために我が組織が存在するのか、我が組織が果たすべき使命・役割は何か
男女が、社会の対等な構成員として、互いにその生き方を尊重し、あらゆる分野において共に参画し、共に責任を分かち合うことができる男女共同参画社会の実現を目指す。	



組織の目標	使命・役割を果たす上で、我が組織が目指すゴール(成果)は何か、その目標値はどのような水準か					
(定性的目標)	何をどのような状態にしたいか					
① あらゆる分野における女性の活躍推進 ② 安全・安心な暮らしの実現 ③ 男女共同参画社会の実現に向けた意識改革と体制の充実						
(定量的目標)	具体的な指標、目標値を設定する					
	目標とする成果指標	現行値	年(度)	目標値	年(度)	目標値の設定根拠(他県との比較など)
①	県審議会等における女性委員の割合	42.6 %	R2 年度	50.0 %	R12 年度	いしかわ男女共同参画プラン2021
②	DV被害を受けた人のうち相談した人の割合	37.5 %	R2 年度	50.0 %	R7 年度	〃
②	性暴力に関する若年層向け出前講座の実施数(累計)	—	年度	150 講座	R7 年度	〃 (令和3年度から開始)
③	「男女共同参画社会」という用語の周知度	70.4 %	R2 年度	100.0 %	R7 年度	〃



令和3年度に重点的に取り組むべき課題	左記の具体的な内容を記載する
① 方針の立案・決定過程への女性の参画の拡大	県政会議の開催や県政学習バスの運行、(公財)いしかわ女性基金による研修講座事業などを通じて、女性自らが意識と能力を高め、社会のあらゆる分野で主体的に活躍できるよう支援する。
① 男女の仕事と生活の調和(ワークライフバランス)等の実現	企業への意識啓発や女性起業家への支援などを通じて、多様で柔軟な働き方等を通じた仕事と生活の調和(ワークライフバランス)を実現するための支援を行う。
① 地域における男女共同参画の推進	男女共同参画の推進員及び応援団の活動の促進などを通じて、さまざまな地域活動への男女の参画を促進し、地域における男女共同参画を推進する。
② 女性等に対するあらゆる暴力の根絶	配偶者等からの暴力防止に向けた啓発活動やDV相談体制の充実に向けた研修を実施するほか、性暴力被害者に対する支援を行う。
③ あらゆる人々に対する男女共同参画の理解促進	男性や若い世代をはじめ企業、家庭など、対象や年代に応じた手法で啓発活動を推進することで、あらゆる人々に対する男女共同参画の理解促進に取り組む。